

Energy・NEXT を担う学生たち

3期生 11名



赤木 覚

出身学科 電気・情報生命工学

プログラムで養った専門力や俯瞰力を活かして、エネルギー問題を解決に導くような人材を目指す。



榎田 一平

出身学科 化学・生命化学

しっかりとした専門的知識を土台とし、柔軟な発想を持ったことから必要とされる人材に。



大谷 智博

出身学科 応用化学

「自在」福井謙一先生の言葉どんな課題に対しても、目先の事だけにとらわれずに真理を見通せる研究者になる。



瀧瀬 賢人

出身学科 応用化学

研究者として一身自立し、社会をエネルギー的に自立させるべく、エネルギー分野の研究でグローバルリーダーを目指す。



竹延 祐二

出身学科 電気・情報生命工学

最先端のエネルギー戦略を立て、それを世界に向けて発信していく人材になる！



谷口 卓也

出身学科 生命医科学

仲間と切磋琢磨しながら高い能力を身につけ、より面白くワクワクするような社会を作りたい。



パーキン 暁

出身学科 物理学

広い専門力と俯瞰力を持ち合わせた広い視野の考えを持ち、その考えを分かりやすく発信できる人に。



藤平 誉樹

出身学科 応用化学

本プログラムで得られる様々な経験を活かし、次世代の博士人材として日本の将来を牽引していく存在になる。



舟橋 一真

出身学科 応用物理学

ゆるぎない専門力と柔軟な俯瞰力を以って、日本の将来を背負って立つリーダーを目指す。



吉川 裕樹

出身学科 電気・情報生命工学

幅広い分野に通用する手法を確立し、その素晴らしさを文理の隔たりになく伝えられる研究者に。



渡邊 健人

出身学科 物理学

色々な人に物理や宇宙の面白さ、素晴らしさを知ってもらい、科学の最先端で活躍できる人間になる。

5月31日(土)ー6月1日(日)、先進理工学専攻でオリエンテーションを開催しました。研究紹介とエネルギーに関するグループディスカッションを実施し、朝日先生、村田先生、勝藤先生や1・2期生も駆けつけての専攻内交流会となりました。



反響

- 様々に異なるサイズ・分野の課題を扱っている同級生の研究紹介を聞き、物事に応じて自分のピントをうまく調節すれば、共通する手法も見出すことができるのではないかと感じた。
- プレゼンテーションを通して相手に理解してもらうことは想像以上に難しいこと、特に非専門家への説明には一層プレゼンの工夫が必要であることであることを実感した。
- どの先輩も人間としての魅力が非常に強いように感じた。目に見える結果を残している自信がそれを支えているのだとしたら、これからの5年間、自分も一歩ずつ進んでいきたいと思う。